

- 司会 渡邊さん フリートークでお願いします。
- 谷口 回数を重ねる毎に良くなっている。それぞれの学年で代を重ねて気付く子に育っており、視野が広がっている。
ボランティアは土曜授業がなくなってできない。土曜授業を行うと可能では。地域の方と接していく環境が難しくなっている。思いを届けることが難しい場面も。海陽中とのコラボは今後していく方向で考えていく。
- 岩村 発信する力は年々よくなっている。
保健委員会では、昨年度は歯の磨き方の動画をしたが、今年は違うことをしたいという。今までのことを踏まえていくのは大切だが、今までと違うことをすることがすごい。
- 田中 セタ用の竹を切ってくるがいつもってくればいいのか。今週中？（早速運営協議会が終わってからもってきていただく）
- 山地 ボランティア委員会のペットボトルキャップ2kgでワクチン1本、ワクチンがどのように使われているか、使われる先が有意義なものになっていくとすることで意欲もわくのではないか。
- 竹中 自信が無い感じだが、これからの成長が楽しみ。去年と比べて考える力、工夫する力がすごい。自分の気持ちを素直に言える。がんばっている姿を見るとこれからの将来が楽しみ。
- 寺田 もはや大人と対等になっている。提案について大人の話にも乗ってきている。花の種を作る、もっと増やして配る、マルシェで販売する、などのアイデアが広がる方向に手伝えると嬉しい。子供たちがゲームを運営参画する話まで広がった。
- 渡邊 散歩中あいさつをしてくれるようになった。特に海陽中生。自分から挨拶をしてくれる。
- 米村 子供たちの説明する力、大人に伝わるように説明していた。大人への返答もとても的確だった。そのような力をつけるために普段からどのような取組を行っているのか。
- 成瀬 学習の中では、自分の意見を伝えることについて重点をおいて授業をしている。これは、市の教育委員会が牽引しているあらおベーシックの賜である。
- 北岡 今日発表した6年生全体の学力はこれからであるが、コミュニケーションの力はついている。
- 江良 参加型の学校運営協議会がすばらしい。子供たちの願いを叶えようとしている姿が良い。さっきの挨拶の話も大人が信頼されている証拠。
今日の会議が4カ所に分かれていることに関して、何か意図があるのか。
- 北岡 それぞれの委員会の提案を大きく4つのグループに分けている。そのテーマに沿って、それに対応することができる委員さんを意図的に振り分けている。
- 中屋 こんな学校が増えるといい。地域の方々が寄り添って話をしている。
地域学校協働活動推進員の方々は、どのような活動をしているのか。
- 田添 万田小学校では、ボランティアの要請がたくさん上がっている。ボランティアの要請があったらすぐ見つけるといった素早い対応をしている。今は、平野さんと一緒にしている。先を見通して活動している。
- 中屋 学校からの仕掛け、校長からのマネジメントがしっかりしている。

北岡 ボランティアの要請については、ただ活動するのではなく、どのような力を付けるのかを明確にしてからボランティアを要請している。

宮部 (先程、七夕用の竹の話聞いて) 地域の方の行動力が素晴らしい。本市では竹がないという現実もある。

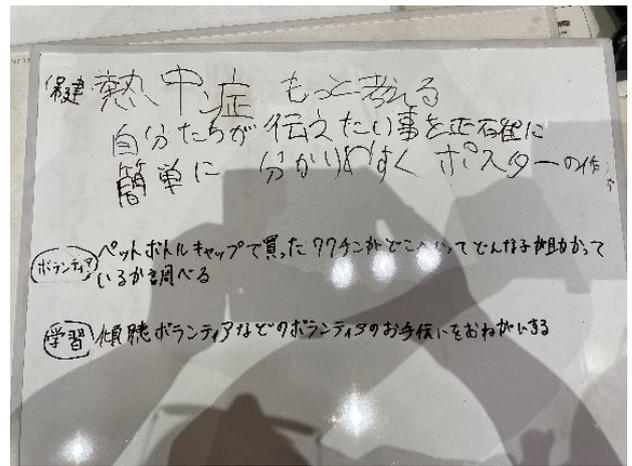
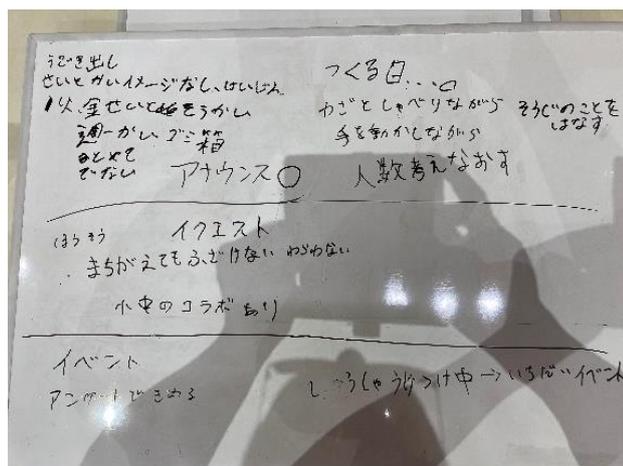
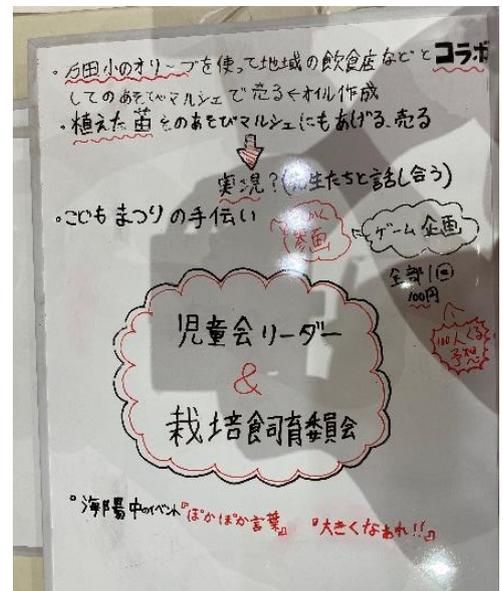
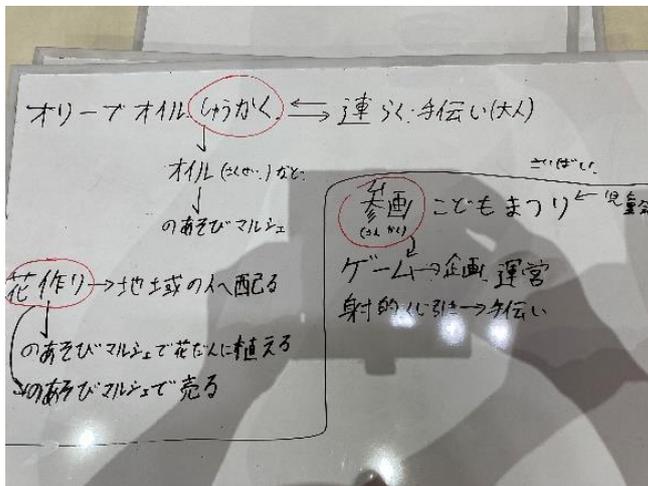
発表の時に前にいる子がしゃがんだ。お互いが思いやりを持って接している様子分かる。

太田 子供たちがそれぞれの委員さんから指摘されたのは学習指導要領に記載されている資質・能力である。長期的にこの学びを続けて欲しい。大人と子供が同じテーブルに着くことが大事。この取組を広げて欲しい。

川並 どうやったら学校が活性化するか。社会教育と学校教育について。社会教育の年間カリキュラムを取り入れる方法も考えていきたい。

森 社会教育と交わる。子供たちとの雑談が良かった。

【各ブースで話し合った内容を子供たちがまとめたホワイトボード】



- *米村…荒尾市教育委員会指導主事
- *太田…熊本大学教職大学院シニア教授
- *川並…元熊本県教育庁市町村教育局長

- *江良、中屋、森…熊本市教育委員会関係者
- *宮部…熊本大学教職大学院生 (現職派遣)